



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2016年5月号ブリテン 通算第60号 2016.5.18



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX 022-222-2952

Email: pro-2ty@xui.biglobe.ne.jp: 書記 門脇 秀知

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:45

2015—2016年度 主題 (Theme)

国際会長	Wichian Boonmapajorn (タイ) 「信念のあるミッション」
アジア会長	Edward K.W. Ong (シンガポール) 「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事	渡辺 隆 (甲府) 「原点に立って、未来へステップ」
北東部部長	中川典幸 (仙台) 「今と原点を融合して未来へ」 — 楽しく改革・笑って行動 —
クラブ会長	佐藤善人 「5年目に向けて」 — 地域奉仕活動4年を振り返り、前へ —

2015~2016年度 クラブ役員

会長	佐藤 善人	地域奉仕	阿部 松男	ブリテン	本野 日出子
副会長	加藤 研	会員増強	村井 伸夫	直前会長	門脇 秀知
書記	門脇 秀知	国際交流	佐藤 剛	担当主事	荒木 啓二
会計	高篠 伸子	ドライバー	菅野 健	相談役	伊勢 文夫
監査	吉田 俊一	メネット会	松本 京子		

今月の聖句

吉田 俊一

「すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。」
使徒言行録 2章4節

巻頭言

「5年」

布宮圭子

震災から5年、広瀬川クラブ設立からも5年が過ぎました。巻頭言の当番になり、改めて過去の巻頭言を読み返しました。自己紹介から始まり、娘たちのW入学、趣味の無い私のこと、そして遠距離介護と4回担当させていただきました。この5年で子どもは成長し、思春期で反抗期だった長女は、4月から花の女子大生。母の日にはメールで感謝を伝えられるまでに成長しました。妹が母の日を忘れていたと知り「仙台に帰った時に、来週だよって念を押したのにい。少しは家の手伝いもしてお母さんを助けてほしいよね!!」などと言いつつおりました。過去の貴女に聞かせたい!!

自宅で老々介護の両親でしたが、父は、介護認定が進み施設入所となりました。母のストレスはグッと減りましたが、「ケンカしても二人が良かった。」と言いながら、ヘルパーさんの訪問を受けて一人で暮らしています。主人の母は93歳、この先どうなるやら…。

さて私は…未だに趣味と言えるものはなくてご報告もできません。

沢山のしなければならぬことに押しつぶされそうになり、締め切りと闘う5月ですが、毎日元気でいられることに感謝です。

「さあ もう寝よう あしたはきっと いい日」

おまじないを唱えて眠りにつきます。



4月第1例会報告

在籍者	17名	出席者	13名	メイキャップ	名	出席率	76%
メネット	名	ゲスト・ビジター	名	ニコニコ		12000円	

【4月第1（お花見）例会報告】

日時：4月20日（水） 19：00～21：00

場所：スマイルホテル 「シェルベール」

出席者：阿部、荒木、伊勢、及川、加藤、門脇、菅野、
佐藤善、高篠、本野、松本、村井、吉田

恒例のお花見例会は、これまたクラブ例会恒例会場として利用している「シェルベール」で開催された。

室内のため桜の下の宴とはいかなかったものの、終始和やかにお花見例会は進められた。

（写真下は開会あいさつする佐藤会長）



今回は担当主事になられた「荒木メン」（写真：下記）のデビュー例会でもあり、ひときわ話が弾んだ。



例会で確認されたことは下記のとおりである。

- ① 5月例会開催日の変更
 - ・第2例会は4日→11日（連休のため）
 - ・第1例会は金沢クラブ交流会を兼ね18日→21日
- ② 石巻広域クラブチャーターナイトは28日に石巻グラウンドホテルで開催
- ③ 熊本地震緊急街頭募金の案内
4月21日（日） 午後1時30分～3時市内4カ所
- ④ バザー委員は阿部・松本

ニコニコ 12000円は熊本地震支援金として拠出した

【5月第2例会報告】

日時：5月11日（水） 18：45～20：00

場所：仙台YMCA会議室

出席者：伊勢、加藤、門脇、菅野、高篠、吉田

＜協議・連絡事項＞

- ① 4月23日（土）第3回北東部評議会開催

場所：いわて県民情報交流センター【アイーナ】

- ② 4月26日（火）18：45～バザー委員会参加：阿部・松本

- ③ 金沢クラブとの交流会 金沢クラブ6名参加

日時：5月21日（土）、22日（日）

*）尚、例会は同会場にて18：30より行う

【熊本地震緊急街頭募金】

4月24日・5月15日の3日間、仙台YMCAの多くの関係者が街頭に立ち、多くの市民の皆さんからたくさん募金が寄せられました。



仙台YMCAバザーご案内

6月12日（日） 10：00～14：00

担当者集合：8時30分 割ぼう着、三角巾を忘れずに

物品寄贈のお願い（搬入は立町会館に）

未使用の物・食料品は賞味期限内のものをお願いします
古着・古本はご遠慮ください

編集後記 大震災から5年しかたたないのに九州熊本の大地震、いつの間にか日本中が地震地帯になってしまったのでしょうか。1日も早い復興をお祈り申し上げます。 H. H

【熊本支援報告】



- 期 間 2016年5月9日（月）～14日（土）
- 派遣場所 益城町総合運動公園 避難所
- 派遣者 健康教育事業部 荒木啓二 西山児童館 伊藤雅宣

熊本 YMCA が 2015 年 4 月 1 日より指定管理運営を受けた益城町総合運動公園避難所の運営支援を実施して来ました。荒木は介護班、伊藤はボランティア班での活動となりました。

現在の避難所は運動公園内 4 つのCATEGORYに分かれていました。体育館に 500 名、公民館に 300 名、ペット同伴テントに 150 名、陸上競技場の設置緑テントに 550 名、総勢約 1,500 名の方が避難されていました。体育館のアリーナの修繕が終了した後は 2,000 名になることが予想されるようです。

益城町の家屋の倒壊は報道されているように、悲惨な状況でした。今後、仮設住宅の設置場所の選定、設置工事などが推進されて行くと思われます。

現在は 1 日が騒がしくも穏やかに流れていました。食事もセブンイレブンと提携されており、朝はパン、お昼はおにぎり及び炊き出し、夜はお弁当が支給されていました。



高齢者が多い避難所でした。常に医療支援団体が運動場を巡回して高齢者のサポートを行っていました。また、食事を取りに行くことが困難な高齢者ケア、トイレのサポート、入浴・シャワーの介助サポートなど。私はそのサポートのアレンジ役、つなぎ役を行って来ました。

その他、危険な場所などの改善、掃除、物資の整理、ボランティアのサポートなど、できることを精一杯取り組んだ 6 日間となりました。

今後は暑さや湿気が予想され、より繊細な体調管理を促し、推進して行くこと、ダニや蚊などの虫の対策も考えなくてはなりません。避難者のニーズも日々変化をしています。慣れて来た避難者の方々のニーズは終息することはありません。



【ボランティアの皆さんのトイレ清掃】

今後も熊本 YMCA も避難者のニーズにも耳を傾け、そして方向を示し、復興に向けて精一杯取り組むことでしょう。私たち仙台 YMCA、東日本区の YMCA、そしてワイズメンズクラブはその取り組みを全力でサポートをして行きます。

(学校法人仙台 YMCA 健康教育事業部 荒木啓二 報告)